

製品名: DCP1A (1Q16) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe09845**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:50-1:200
分子量	63kDa

抗原情報

遺伝子名	DCP1A
別名	Dcp1a; HSA275986; Nbla00360; SMAD4IP1; SMIF;
遺伝子 ID	55802.0
SwissProt ID	Q9NPI6
免疫原	ヒト Dcp1a の合成ペプチド

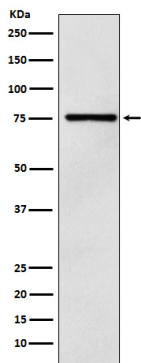
背景

通常の mRNA ターンオーバーおよびナンセンス変異を介した mRNA 分解の両方において、mRNA の分解に必要。mRNA 分子から 7-メチルグアニンキャップ構造を除去し、5'-リン酸化 mRNA 断片と 7m-GDP を生成する。TGFB1 刺激後の標的遺伝子の転写活性化に寄与する。通常の mRNA ターンオーバーおよびナンセンス変異を介した mRNA 分解の両方において、mRNA の分解に必要 (PubMed:12417715) 。 mRNA 分子から 7-メチルグアニンキャップ構造を除去し、5'-リン酸化 mRNA 断片と 7m-GDP を生成する (PubMed:12417715) 。 TGFB1 刺激後の標的遺伝子の転写活性化に寄与する (PubMed:11836524) 。 胚発生に必須 (PubMed:33813271) 。

研究分野

RNA 分解;

画像データ



293T 細胞溶解物中の DCP1A 発現のウェスタン プロット解析。